

丹波市人権・同和教育協議会

第60号

人権ネットワーク たんば

発行 丹波市人権・同和教育協議会

事務局 〒669-3309
丹波市柏原町柏原 4 4 3
TEL・FAX0795-72-2770
e-mail jinken@tambashi-doukyou.jp

中学生の主張 人権作文 最優秀作品

丹波市人権・同和教育協議会（市同教）では、市内の中学生から人権作文を募集し、最優秀作品を市同教広報紙「人権ネットワークたんば」に掲載しています。

本年度も、市内全ての中学校から応募がありました。作文には、同和問題や戦争・平和について、高齢者や障がい者、性に関する問題な

ど様々な人権課題が取り上げられ、人権教育の高まりと中学生の人権意識の広がりを感じました。選考の結果、柏原中学生の作品が最優秀賞に選ばれました。作者の思いが一人でも多くの市民の皆様の心に届くことを願って作品を紹介させていただきます。

生きがい 自分らしく生きる

おばあちゃんは、車に乗れない。目の手術をしたときに、本が読める目にするか、車に乗れる目にするか選んでくださいと言われて、本が読める目を選んだから。

そういうわけで、移動のときは、徒歩か電動自転車。愛用の電動自転車を使用して移動していた。

参観日、買い物、町の中の4 kmくらいのはん囲は、

ある雪の日の朝、「小学生も雪道を歩いているから。」という理由で、おばあちゃんは歩いて買物に行こうとした。家を出てすぐのところで、運悪くすべってころんだ。おばあちゃんは左手を道につけてしまい、骨折してしまった。おばあちゃんは近くにいた私のおばさんに手を痛めたとみせたところ、明らかにはおかしい手にびっくりしたおばさんは、すぐに車で病院につれて行った。全治四ヶ月の重傷で、ギプスをして家に帰ってきた。

そんなおばあちゃんに、みんなはこんな声をかけた。

「雪の日くらい、買い物行かんでええやろ。」

「小学生と自分を一緒にしたらあかん。」

おばあちゃんだから、無茶したらあかんやろ。

「あんたらに迷わくかけるつもりはなかったんやけど。」

としょんほりしていた。
しばらくして、手の痛みがひいてきた。おばあちゃんは、一人で買い物に行っても、思ったように多くのものが買えなくて、がっかりした。

「私、シルバーカーもつて買い物行く。そしたら車おして帰れるから、いっぱい買い物できるで。」

と、むすこであるおじさんに相談したら、「本当のおばあちゃんになるからやめて。それやったら買い物くらい、誰でも送りむかえる！」

と、強く言われてしまい、またしょんぼりした。

「私、自分で買い物行きたいねん。一人で行くのにシルバーカーあかんか？何やったらいい？ベビーカーやったらあかんか？」

一生懸命案を出すけど、どれも不採用。結局、時々おばさんの車歩いて持ち帰れる量の買い物をしたりすることで四ヶ月のりきった。

ちょうどこのころから美容院にも行けなくなっていたので、骨折が治りしばらくしたころ、かみが昨日まで黒かったのに、真っ白になった。美容院に行けたので染めるのをやめ、ホワイトヘアになった。

そんなおば

「えっ？ 白。」

「なんで白なん？」
「なんで染めんかったん？」

おばあちゃんがその時に何を言ったか、どんな表情だったか思い出せない。言ったことは思い出せるけど、おばあちゃんがこの言葉を言っただう思ったかなんて考えてなかった。

おばあちゃんは一人暮らし。でも毎日三人分の昼ご飯、六人分のばんご飯を作る。私の親は出勤が早いので、家のかきはしめてくれる。不在のときのたつ急便をあずかってくれたり、いっぱいしてもらったりしてる。

でも、骨折事件のときは、一人で自由に買物したいという願いを取りあげてしまった。かみが白くなつたときは、おばあちゃんが選んだホワイトヘアの選択を年よりくさいときやつ下した。いとこのおねえちゃんが緑にしてもへえーくらいなのに、おばあちゃんにはひどいこと言った。

お年よりにとって本当に優しいかわり方は何か私は考えてみたい。見た目で決めるのは違う。自分で自分がしたいことを自由にできる社会になつたらいい。そのために、おばあちゃんの選択を受け入れ、どうしたらうまくサポートできるのか考えたい。おばあちゃんは超元気で、手芸もするし、料理ではミンチカツが特別にいいし、柏原ひなめぐりの実行委員として、き画もいろいろやっている。そんなおばあちゃんが自分らしく生きられる社会になつたらいいと思う。

 あなたとまちとフェイス toフェイス

中兵庫信用金庫

理事長 足 立 厚 郎

本店・丹波本部 丹波市氷上町成松226-1
Tel.(0795)82-8850(代)

三 田 本 部 三田市けやき台1-4-3
Tel.(079)569-7150(代)

ホームページ <https://www.nakashin.co.jp/>

JA丹波ひかみは
地産地消に取り組み
地域の「食」と「農」を応援します！

 **とれたて野菜直売所** 

 **希望とるおいのあるまちづくり**

JA 丹波ひかみ
〒669-3461 丹波市永上町市辺440
TEL(0795)82-0170 FAX(0795)82-3658
<https://www.ja-tanbahikami.or.jp/>

真実一路 株式会社 吉住工務店

代表取締役社長 吉住正基

本社：丹波市春日町野村2465
TEL：0795-74-0712

こだま館 / 丹波展示場
西宮支店 / ショールーム



**丹波新聞は下記の店舗で
最新号を販売しております。**

- ファミリーマート 柏原下小倉店
- ひかみ四季菜館 (犬岡)
- 道の駅 丹波おばあちゃんの里
- セブンイレブン 丹波市辺南店
- ファミリーマート 篠山丹南店
- 岡本病院内 売店
- セブンイレブン 篠山黒岡店

丹波新聞 TEL.0795-72-0530
FAX.0795-72-1956

丹波新聞 検索  ご購読は